

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネイスぶらす浦和美園校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2024年 12月 6日		2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心して楽しく通える場所を作ること。	これまでどのような活動を行ってきたかを振り返り、同じ内容ばかりで飽きが来ないように意識してプログラム作りを行っています。	個別支援計画も踏まえ、全職員で話し合っってプログラムを作成し、これまで以上に児童が楽しみながら質の高い支援が受けられるようにしていきます。
2	適切な流れで支援計画の作成、説明がなされていること。	日々のレッスン後に支援計画の目標に対する職員の評価をまとめ、次の目標、計画を立てやすいようにしています。	保護者の方との面談の機会を必要に応じて今より増やし、どのような支援を求めておられるのかという視点にも基づいて作成していきます。
3	児童の障害特性に応じた環境設定を行っていること。	児童の日々の様子を職員間で共有し、刺激となりそうな物や環境を可能な範囲で取り除けるように話し合いを行っています。	取り除くことが難しい教室内の危険箇所について、コーナガードの設置等を行い、より安全にも配慮した環境設定を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室の一時的な閉所に陥ってしまったこと。	本社職員との連携が図りきれていなかった部分や職員間でのコミュニケーションが不足していた部分があります。	どのように教室を運営していくのか、職員同士や本社職員とこまめにやりとりをし、安定した教室運営を行います。
2	災害時の訓練等が行われているか不透明であること。	定期的の実施をしているものの、保護者の方々へ周知しできていませんでした。	教室として実際にどのように訓練を実施し、災害に備えているのかを具体的に説明する機会を設けます。
3	家族支援プログラムの機会や情報提供が少ないこと。	事業所側から積極的に情報提供等をしようとしていない現状があり、個別支援計画の説明での面談のみになる場合が多いです。	必要に応じて、お子様への対応についての面談や家族支援プログラムを行う体制があることを広く保護者の方々へ周知をしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ネイスぶらす浦和美園校		公表日		2025年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		子どもの特性を踏まえたうえでの運動療育という面から考えると、職員数が足りないことがあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1		支援室内に視覚的刺激となりえる物があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	職員が日々清掃を行っており、支援室内も子どもが活動しやすいように物の配置等を配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	2	個別で過ごすための部屋は無いため、必要な場合、相談室を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	個別支援計画の内容の共有、それを踏まえた評価を行う時間を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	支援前後に保護者と話す機会を設けているほか、有事の際に連絡が複数の手段できることを案内しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	児童に対する支援会議や日々の朝礼、終礼で意見の交換をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		現在は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	月に一度の全職員での研修でスキルアップを図る機会が設けられています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0	利用者への面談を必ず設けてから支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	支援計画の作成後、利用者へ公開する前に職員全体へ共有し、内容について再確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		現状、職員の主観によるものが多いです。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	支援内容は具体的に記載し、支援計画を職員間で共有する際はその方法や意図がわかりやすいかについても話し合っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	偏りが出ないように、直近の記録を見ながらプログラムを作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	個別対応が必要な児童においては支援内容や留意事項にその旨を記載し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	利用者へ公開する記録を日々作成し、それを踏まえて改善点があれば職員間で共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	目標に応じてモニタリングを行い、すでに達成している場合などは再度計画を作成するなどの対応を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	連携する医療機関に関してはきちんと明文化し、契約の際に利用者へ伝えていきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	必要に応じて保育所等訪問を行うなどして、情報の共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	3		保護者へ情報共有をお願いするケースが多く、直接行うことは少ないです。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	3		現状、行っておりません。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	3			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時に説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	苦情の担当者を教室内で設けております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		